

人丸公園づくりニュース



第2回 人丸公園整備の方向性を検討する

当日の時間割

- 19:00—開会・あいさつ
—スケジュールの説明
- 19:05—前回のおさらい
- 19:15—ミニ講義
- 19:30—計画のたたき台の説明
—質疑・応答
- 20:50—次会の案内・宿題の説明
- 20:55—閉会

年月日：平成21年10月17日(土)
場 所：そびあしんぐう
参加者：30名

基本理念)

1. 人と自然が育んできた鎮守の森と・多様な生態系をうけつぐ人丸公園づくり
…歴史・持続性・自然
2. 人と生き物の声が聞こえる人丸公園づくり
…生き物との共生
3. みんなの手で公園をつくり・使い・維持していく人丸公園づくり
…交流・コミュニティ

基本理念をふまえて…

1. H13年度ワークショップでの構想案及びH15年度の実施設計、ニホンアカガエルを含めた生態系の概況調査の結果、第1回意見交換会での意見等をふまえた、たたき台を作成し参加者の方の意見を伺いました
2. 「ニホンアカガエルを含めた生態系の保全」と「都市公園としての利用」のせめぎ合いについて部分的に数案を提示し、参加者の方の意見を伺いました
3. 鎮守の森を含めた人丸公園の維持・管理運営を人の手で行うことの重要性をミニ講義を通して確認しました

はじめに

第1回意見交換会、そしてその後の回覧による意見収集を終え、第2回意見交換会を開催しました。今回は人丸公園を整備していく上での具体的な検討課題について意見を交わしました。そこでその意見をまとめています。

計画のたたき台への意見

計画のたたき台をもとにみなさんからいただいた意見をまとめています。

1. 多目的広場について

- ・人と自然が共生していくには、生態系を保全し多目的広場②を縮小した案がいいのではないか。
- ・周辺の公園と同じような広場は必要ないのではないか？

2. 保全していくニホンアカガエルの生息域への自然観察場所(人の立ち入り)の必要性について

- ・そのまま残すほうが良いと思う。あえて、散策するような場所が必要か？
- ・生き物の近くに行きたくて観察したい。

専門家の意見)

- ・保全するだけでは、車椅子や小さなお子さんは近寄ることはできず、ニホンアカガエルの繁殖に必要な水たまりなどへむやみに踏み入ることも考えられます。観察路を設け、ある程度人の利用範囲を限定したほうが望ましい
- ・散策できる場所を設ける際は、表土の最大限保全し生き物の移動空間の確保できる工法や範囲を検討すべきである。

3. 鎮守の森の散策路について

- ・散策路は必要
- ・バリアフリーの散策路を整備しても利用する人は少なく、散策路でない部分を通り近道すると思う
- ・鎮守の森を痛めたくない

専門家の意見)

- ・散策路を設けることは、鎮守の森を少なからず痛めることになる。整備後数年間で修復が必要である。
- ・もちろん、鎮守の森の表土を痛めにくいルートや工法の選定を行うべきである。

4. A部(体験農園予定地)の見直しについて

- ・生態系を保全したい
 - ・体験農園として利用したい
(判断がつかない方が多い)
- 専門家の意見)
- ・個人に貸すことは不可能であるため、取り巻く現状を加味すると体験農園としての可能性はきわめて少ない。
 - ・個人が体験できる場所は「貸し農園」で行うべきである。

その他

- ・ボール遊びなどができる場所とは別に、小さな子どもたちが安全に遊べる場を確保してほしい。
- ・アスファルトのような高温になる舗装にはしないほしい。
- ・園路は、現在のあぜ部分を生かした方がよいのではないか
- ・サギのコロニーの保護のため、鎮守の森は現状のままがよい

次回、最終的な方向性について合意形成を行うと共に、公園を維持・管理運営していく上での課題について意見交換を行います。

計画のたたき台(平面図)

※このたたき台は、第2回意見交換会におけるみなさんとの合意形成を目的として作成されたもので、最終計画案ではありません。



朝廣先生のミニ講義 パート2

～第1回の課題を受けて
人と生き物の集う公園づくり～
人丸公園における課題と対策

「鎮守の森内の竹林の伐採」から始めました。新宮町では1974年の調査から約30年で竹林の範囲が3倍になっています。伐採することだけではなく、継続的に人の手で管理することや伐採後の竹の活用方法など具体的な写真等で説明がありました。

放置竹林の竹活用の成功事例—ボランティア・NPOと行政との連携の上に成立
神奈川県 ボランティアが伐り出した竹を県が湘南海岸の防砂柵に採用



神奈川県 竹育祭
大分県 NPO主体の 竹葉・竹育祭



鎮守の森の保全に目を奪われて見落としかちな視点で「鎮守の森の保全だけでなく公園としての美しさの必要性」「小さな子どものための遊具や空間の必要性」や生態系の保全をする際の視点で「自然草地の保全における適度な人の利用と人による管理の重要性」「林縁部の保全による生態系の多様性」「古木や朽木の保全」など、日本やイギリスなど各地の先進事例を元に人丸公園でどうあるべきかが話されました。



人丸公園の整備について
「鎮守の森の保全も公園の整備についても継続的に人がかかわっていかねば、魅力を維持していくことができない」という大きな課題をみなさんに投げかけて、ミニ講義を終えました。

・次回内容

第3回意見交換会
平成21年11月8日(日) 14:30~16:00
場所：そびあしんぐう2階研修室

- ・人丸公園整備の最終的な方向性の確認
- ・人丸公園の維持・管理運営についての意見交換
- ・朝廣先生によるミニ講義「(仮)公園づくりは人づくりパート2」

全体スケジュール
第1回：平成21年9月19日(土)
第2回：平成21年10月17日(土)
第3回：平成21年11月8日(日)

・問い合わせ先

新宮町都市整備課 笠井・山下まで
電話：092-963-1735 ファックス：092-941-2682
電子メール：kensetsu@town.shingu.fukuoka.jp まで
作業機関(株)ランドスケープ・コア

最後の意見交換会です。人丸公園の整備内容について議論できる貴重な時間です。皆様の参加をお待ちしています。